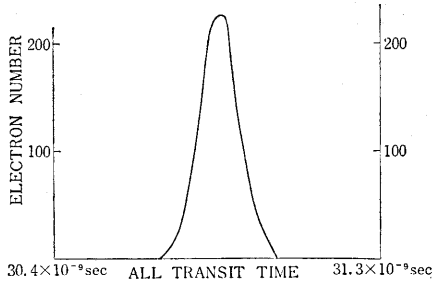


研 究 速 報

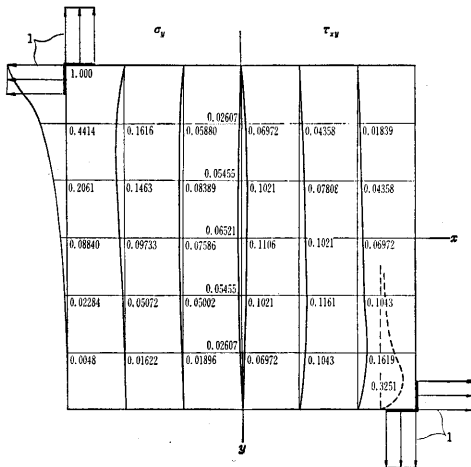
ALL TRANSIT TIME DISTRIBUTION OF
P. M. C-70045A by OKITAC 5090

図・4 光電子増倍管 C-70045 A のインパルス応答

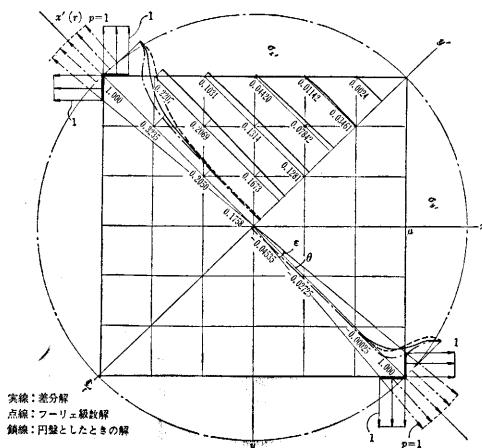
ルトとし、OKITA C-5090, HITA C-5020 を使用した。

計算機によるインパルス応答は図・4 に示す。実験との不一致は、主に出力端によるストレー容量のためと思われる。

(p.26 よりつづく)



図・6 Case 3 (その1)



図・6 Case 3 (その2)

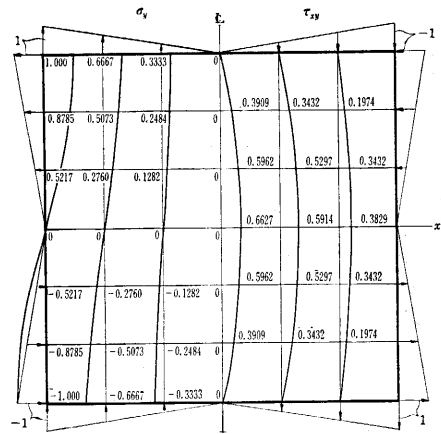
結 論

この光電子増倍管は図・3のように1GHzまで平坦な特性を示しており、パルスによる立上り時間測定値 0.5 ns とよく一致している。レーザ通信用としては、微弱な受信光においても、受信機雑音よりも光電流による雑音がおおくなる感度の最良状態に容易にすることができ。したがって、この光電子増倍管は、広帯域のレーザ通信用の検波器として有用であり、その第一段階としてその報告をさせていただきである。終始ご指導を賜わる斎藤教授、浜崎助教授に感謝する。この研究は昭和40年度選定研究費によるものである。

(1966年3月25日受理)

文 献

- 1) R.C. Miller, N.C. Wittwer, "High Speed Photomultipliers" IEEE Int. Conv. Rec, vol. 13, Pt. 5, pp. 7~16; March 1965.



図・6 Case 4

参 考 文 献

- 1) Timoshenko and Goodier, "Theory of Elasticity" McGraw-Hill, 1934.
- 2) C. W. McCormik, "Plane Stress Analysis", Jour. of the S. D. Proc. of the ASCE, Aug. 1963.
- 3) R. N. White, "Optimum Solution Techniques for Finite-difference Equations", Jour. of the S.D. Proc. of the ASCE, Aug. 1963
- 4) S. Rosenhaupt, "Stresses in Point Supported Composite Walls", Jour. of the ACI, July 1964
- 5) Zienkiewicz and Holister, "Stress Analysis," John Wiley & Sons LTD, 1965.
- 6) (別報1)坪井・中田, "平面応力問題", 未発表
- 7) (別報2)坪井・磯貝, "部分荷重を受ける円板の問題," 未発表

(1966年3月31日受理)

正 誤 表 (5月号)

頁	段	行	種 別	正	誤
127	左		図・1	時間波形	時間波型
"	左	19	本 文	$\frac{a_n}{2}$	$\frac{a_n}{2}$